

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

629

地球温暖化対策事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	1	環境の保全
取組方針	3	地球環境の保全

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	環境保全費		
	目	環境保全政策費		
	大事業	環境保全政策事業		
	中事業	地球温暖化対策事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市地球温暖化対策実行計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	環境政策課	池端 宗敏 435-1114
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	地球温暖化対策実行計画(事務事業編及び区域施策編)の目標を達成するため、市民・事業者・民間団体等との連携、協働を進める。		地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の目標を達成するため、各部署と連携・協力し、環境に配慮した行動の徹底を図る。地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の目標を達成するため、市民・事業者・民間団体等との連携、協働を進める。			
事業内容		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		和歌山市地球温暖化対策実行計画の推進及び進行管理。地球温暖化対策の推進に関する法律及びエネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく報告。	和歌山市地球温暖化対策実行計画の推進及び進行管理。地球温暖化対策の推進に関する法律及びエネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく報告。	和歌山市地球温暖化対策実行計画の推進及び進行管理。地球温暖化対策の推進に関する法律及びエネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく報告。		

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	42	0	475	115	417	275	0	0	0	0	
伸び率(%)	0%	△100%	1,031%	0%	△12.2%	139.1%	△100%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	6,982	6,982	7,007	6,696	6,836	7,150	0	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	6,982	6,982	7,007	6,696	6,836	7,150	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	42	0	475	115	417	275	0	0	0	0	
所要人数(人)	正規職員	0.90	0.90	0.90	0.86	0.87	0.91	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	消耗品費298千円、印刷製本費76千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
温室効果ガス等排出量実態調査件数		回	目標値	2	2	2		
			実績値	2	2	2		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
フロン類漏洩報告量(1,000トン-CO2以上の場合報告が必要)		t-CO2	目標値	0	0	0		
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	地球温暖化対策は長期的に取り組む事業であり、効果が見えにくいだが、必要不可欠な事業である。
見直し・改善内容	毎年実態調査を実施し、温室効果ガス削減のための取組について、一層の促進を図っていく。